

平成24年度第1回（第17回） 外務省契約監視委員会
議事概要

開催日及び場所	平成24年4月26日（木） 於：外務省285号会議室	
委員	委員長 中里 実 委員 中谷 和弘、三笥 裕、宮本 和之、門伝 明子	
抽出案件		(備考)
一般競争方式（政府調達に関する協定適用対象）	1/4 件	審査対象： 平成23年度第3四半期
一般競争方式（上記以外）	2/37 件	
指名競争方式	1/9 件	
企画競争に基づく随意契約方式	2/22 件	
公募に基づく随意契約方式	0/1 件	
その他の随意契約方式	4/50 件	
合 計	10/123 件	
	意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する外務省の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他	当省会計課長より、「公共サービス改革プログラム（平成23年4月行政刷新会議公共サービス改革分科会）」及び「調達改善計画の指針（平成23年12月27日内閣府公共サービス改革担当事務局）」に基づき策定した「外務省調達改善計画」につき、今後の取り組み等に関し説明を行った。	

委 員	外 務 省
<p>1. 物品・役務等の契約（総括表） （特段の意見等なし）</p> <p>2. 指名停止等の運用状況 （特段の意見等なし）</p> <p>3. 再度入札における一位不働状況 （特段の意見等なし）</p> <p>4. 低入札価格調査制度調査対象の発生状況 （特段の意見等なし）</p> <p>5. 抽出案件の審議</p> <p>①－2「生活基礎物資調達環境整備事業」業務 委嘱（一般競争入札：政府調達）</p> <p>○本件は、生活基礎物資の調達が困難な途上国に勤務する在外職員を対象に右調達物資の発送業務等に利便性を図るものとされているが、生活物資などは既に在外公館に備蓄されているのではないか。</p> <p>○本件にて取り扱う物品は、公用品証明を行うとあるが、個人が使用する物でも公用品荷物扱いとする理由は。</p> <p>○本事業が今後も継続的に行われていくものであれば、単年度予算の制約もあるかと思うが、制度的に複数年での契約を締結することが効率的ではないのか。</p>	<p>●在外公館には、在外邦人用緊急備蓄品の制度が整備されているが、右は緊急時における短期間の邦人用物資を備蓄しているものであり、在外公館職員個人用の物資ではない。 在外職員の任地における生活物資は各職員の自助努力により、それぞれの自宅に備えている。</p> <p>●勤務環境が劣悪な地においては、荷物の紛失等が頻繁であり、右を回避するために当該任地で生活する上で必要な生活基礎物資に限定し公用品扱いとし、荷物の引き取り等に安全を期するためである。</p> <p>●現時点では予算の制約もあり、現状は単年度毎の契約とならざるを得ないものである。</p>

委 員	外 務 省
<p>②-2 「地方連携推進室における労働者」派遣契約（一般競争入札）</p> <p>○本件業務は、第5号（事務用機器操作）単価としているが、ソフトウェア開発の第1号業務に当たるのではないか。</p> <p>②-29 「『外交青書（閣議版及び市販版）』印刷・製本」業務委嘱（一般競争入札）</p> <p>○閣議版と市販版の作成を分ける理由は。また、閣議版1冊あたりの単価が高い理由は。</p> <p>○本件は一般入札案件であるが、入札参加希望者に対して技術審査を行っている理由は。</p> <p>③-7 「天皇誕生日祝賀レセプションケータリング」業務等委嘱（指名競争入札）</p> <p>○本件指名事業者が付されているA、Bの等級区分とは。</p> <p>④-8 「海外広報用震災復興写真データの制作」業務委嘱（企画競争）</p> <p>○本件のような業務へは比較的、応札希望者が多いものと考えられるが、応札者が2者の理由は。</p>	<p>●当室が運営している「グローバル外交ネット」は、主に地方自治体を対象として、情報を発信していくホームページであるが、本件は右ユーザーからの意見を基に、ユーザビリティ、アクセシビリティの観点からデザイン等の更新、改訂作業に従事する派遣職員の雇用であり、よって第5号業務としているものである。</p> <p>●「外交青書」は、過去1年間（暦年）における国際社会情勢及び我が国の外交政策を広報することを目的として刊行するものであることから、なるべく早期に公表するため、閣議版（4月初めの閣議で配布）と、閣議版に年表等を付した市販版とに分けて作成しているものである。単価については、その印刷・製本作業（経費）の大半が閣議版作成の過程で発生することから、閣議版の単価が高くなる。</p> <p>●「外交青書」は、我が国の外交政策等を内容とし、また多数の図表などを掲載するため、文章校正、図表作成などにおいて、正確で完成度の高い能力が求められることから、技術審査を行っている。</p> <p>●事業者における資本金、実績等により分けられるものである。</p> <p>●本件は平成23年度二次補正予算による震災後の風評被害対策関連の業務である。説明会には7者の参加があったが、本件以外にも右対策関</p>

委 員	外 務 省
<p>④－１６「北京における『元気な日本』展示会（日中国交正常化４０周年記念事業の開幕式）の開催」業務委嘱（企画競争） （特段の意見等なし）</p> <p>⑥－１３「管理者評価集計システム保守」業務委嘱（随意契約）</p> <p>○部下が上司を評価するといった点で意義のあることだと思うが、この評価システムと上司が部下を評価するといった既存の人事評価システムがあれば統合することで、コストダウンが可能ではないのか。</p> <p>⑥－１６「本省メール集約化サーバ・リプレイス」業務委嘱（随意契約）</p> <p>○現在所有しているサーバ及び予備機を流用し、リプレイス（機器入替）作業しているが、右機器等も老朽化しているのではないか。また７台のサーバから４台に集約されているが問題はないのか。</p> <p>⑥－３２「在外公館向け公邸会食用新規格食器」の製造契約（随意契約）</p> <p>○規格食器のデザインは年度によって変わるものなのか。またストックはあるのか。</p> <p>⑥－４６「通信用サーバ機器一式」賃貸借・保守（再リース）（随意契約） （特段の意見等なし）</p>	<p>連案件が複数同時並行的にあったことから、本件応札者数となったものと思われる。</p> <p>●上司が部下を評価する各省共通の人事評価制度はあるが、現時点ではシステム化はされていない。</p> <p>●リプレイスに用いる機器は、平成２２年度に調達した機器であること、また、４台への集約については、データ量の増加も考慮した上で、サーバ自体の性能向上により可能となったものであり、特に問題はないものである。</p> <p>●公館毎に異なるデザインとなると、公館間での利用の融通性が効かないなどの不便が生じるため、デザインは統一されている。また、必要に応じ補充を行い、余分な在庫はない。</p>